

第1号議案

平成30年度事業報告

公益財団法人頼山陽記念文化財団

平成30年度実施事業について、次のとおり報告します。

1 事業

(1) 特別展の開催(公1)

○広島県教育委員会と共同で「特別展実行委員会」を構成し、年2回開催。

○特別展の名称、開催期間、入館者数、展示解説会及び関連イベントに関する実績は、次のとおりである。

特別展の名称	期間	入館者数(人)			展示 解説会	参加者 数 (人)	関連 イベント	実施 日時	参加者 数 (人)
		有料	無料	計					
ひな人形展	1/31~ 3/10	460	306	766	3/2	14	ひな祭り茶会	3/3	207
南画精華展	3/15~ 3/31	262	164	426	0	0	授賞式及 び内覧会	3/14	20
入館者数計		722	470	1192	参加者計	14	参加者計		227

○入館料

区分	金額	備考
一般	300円(240円)	( )は15名以上の団体料金
小中高生	150円(120円)	( )は15名以上の団体料金
65歳以上	240円	

(2) 頼山陽文化講座 (公2)

○講座スケジュール

回	実施期日・会場	講師	講座名	講座内容
1	6月23日(土) 5階研修室	頼 祺一	親孝行の旅	頼三兄弟(春水・春風・杏坪は父惟清と旅をし、紀行文を残しています。彼らの親孝行の旅について紹介します。
2	7月28日(土) 5階研修室	篠原達也	広島を訪れた人々	西国街道(山陽道)は西国における陸上交通の大動脈でした。街道の様子や広島を訪れた学者文人たちの足跡を紹介します。
3	8月18日(土) 5階研修室	大知徳子	宮島を旅する	江戸時代に一大観光地として多くの人が訪れた宮島。その賑わいぶりを紹介します。
4	9月29日(土) 5階研修室	花本哲志	湯治の旅	江戸時代は温泉地が整備され、当時が行われるようになった時代です。湯治に訪れた頼家の人々の姿を紹介します。
5	10月27日(土) 5階研修室	進藤多万	ト夜快語を読む	文政元年(1818年)10月、豊後竹田を訪れた頼山陽は、すぐに立ち去るつもりが6日間も逗留しました。山陽の竹田での6日間に迫ります。
6	12月1日(土) 5階研修室	花本哲志	耶馬溪図巻図を読む	耶馬溪図巻は山陽の絵画作品を代表するものですが、画に続いて書かれた文はあまり知られていません。改めてその文章を味読してみましよう。

○定員：60名 申込者数：77名 平均受講者数：54.7名

○会場：合人社ウエンディひと・まちプラザ  
(広島市まちづくり市民交流プラザ)

(3) 学習会の開催 (公2)

○日本外史を読む会 (毎月第1, 第3金曜日)

○会場: 頼山陽史跡資料館館長室

○登録者数: 12名

実施期日	内 容	人数	実施期日	内 容	人数
4月6日	日本外史 P500~515	9	10月19日	日本外史 P590~596	9
4月20日	日本外史 P517~524	8	11月2日	日本外史 P596~601	7
5月18日	日本外史 P524~531	7	11月16日	日本外史 P602~607	8
6月1日	日本外史 P531~539	8	12月7日	日本外史 P608~615	11
6月15日	日本外史 P539~544	8	12月21日	日本外史 P615~621	10
7月6日	日本外史 P545~548	7	1月11日	日本外史 P622~627	9
7月20日	日本外史 P548~556	9	1月18日	日本外史 P627~633	12
8月3日	日本外史 P556~562	9	2月1日	日本外史 P634~643	8
8月17日	日本外史 P563~568	9	2月15日	日本外史 P644~652	9
9月7日	日本外史 P569~577	8	3月1日	日本外史 P652~662	11
9月21日	日本外史 P577~580	7	3月15日	日本外史 P664~671	10
10月5日	日本外史 P580~590	10			

○古文書研究会 (毎月第2, 第4木曜日)

○会場: 頼山陽史跡資料館館長室

○登録者数: 15名

実施期日	内 容	人数	実施期日	内 容	人数
4月12日	頼杏翁意見 P21 ~23	6	10月25日	梅颯日記 P21 P 1~5	7
4月26日	十句花月帖 P1~ 4	7	11月8日	梅颯日記 P3 P6 ~9	7
5月10日	十句花月帖 P5~ 6	9	11月22日	梅颯日記 P9~15	8
5月24日	十句花月帖 P7~ 8	8	12月13日	梅颯日記 P16 P 1~2	7
6月14日	十句花月帖 P9~ 11	8	1月10日	梅颯日記 P3~	8
6月23日	十句花月帖 P11 ~14	5	1月24日	梅颯「游洛記」 P 1~8	7

実施期日	内 容	人数	実施期日	内 容	人数
7月12日	十句花月帖 P15 ～16	5	2月14日	梅颯「游洛記」P9 ～13 三樹三郎手紙	5
7月28日	十句花月帖 P16 ～	7	3月14日	梅颯「游洛記」P13 ～20	6
9月13日	十句花月帖 P19 ～20	6	3月28日	梅颯「游洛記」P20 ～ 山陽手紙	9
9月29日	十句花月帖 P20 ～21	6			
10月11日	梅颯日記 P17～ 20	9			

- 通義研究会（毎月第1水曜日）
- 会場：頼山陽史跡資料館館長室
- 登録者数：8名

実施期日	内 容	人数	実施期日	内 容	人数
6月4日	オリエンテーショ ン 論勢	6	11月7日	論権 中	6
7月4日	論勢 P63～69	6	12月5日	論権 下	7
8月1日	論勢 P70～80	7	1月9日	論機 上	7
9月12日	論勢 P81～84	6	2月6日	論機 中	8
10月3日	論権 上	8	3月6日	論機 下	7

(4) 茶会の開催（公2）

茶会の名称	開催期日	協 力 者	参加人数
端午の節句茶会	5月5日	裏千家学校茶道連絡協議会	155人
敬老茶会	9月17日	広島市立袋町小学校お茶クラブ	110人
ひな祭茶会	3月3日	煎茶道三癸亭賣茶流石村良雪	207人

(5) ロビーコンサート (公2)

コンサートの名称	開催期日	出演者	入場者数
ピースコンサート	8月4日	大瀬戸千嶋	70人
新春邦楽コンサート	1月20日	木原朋子・川東陽華	38人
ひな祭りコンサート	3月10日	専徳院知子	49人

(6) 第30回頼山陽文化講演会 (公2)

- 事業目的 広く一般を対象に、特別展に関連した内容の講演会を開催し、展示内容の理解を深める
- 会場 広島市まちづくり市民交流プラザマルチメディアスタジオ
- 参加者 75名
- 内容 「漢詩人頼山陽の九州旅行」  
講師 京都教育大学教授 谷口匡氏

(7) 頼山陽記念文化賞 (公3)

- 対象
  - ①頼山陽もしくは頼山陽と関係のあった人物についての歴史的・文化的な研究又は文化遺産の保存等で成果を上げている個人もしくは団体
  - ②広島県の歴史・文化等の分野で実践的な研究等で成果を上げている個人又は団体
- 推薦者  
財団役員及び評議員、都道府県及び政令指定都市教育委員会
- 募集期間：8月初旬～9月中旬
- 選考方法  
頼山陽記念文化賞選考委員会が選考した。(9月28日)
- 平成30年度受賞者 燦燦プロジェクト 代表 吉森晶子氏
- 受賞式及び受賞祝賀会  
平成30年11月7日(水) 会場：ANAクラウンプラザ広島ホテル

(8) 頼山陽書道展 (公3)

○事業目的：頼山陽が生み出した語句を揮毫した作品を公募することで広島県における書道書写教育の振興を図るとともに、郷土が生んだ文豪・頼山陽の生涯と文芸に関心をもって学んでもらう場を創出する。

○課題：小学生（5・6年生）「真」「忠孝」  
中学生「山紫水明」「浩然之氣」  
高校生【創作】「天地無始終 人生有生死 安得類古人  
千載列青史」（「葵丑歳偶作」の四句）  
「不識庵機山を撃つの図に題す」（七言絶句）  
「郷に至る」（七言絶句）  
【臨書】「泊天草洋」  
「外史脱稿戯作」（修史偶題十一首之一）

○募集期間：7月～9月30日

○作品受付：10月1日～10月10日

○出品料：小・中学生 1,000円 高校生 2,000円

○授賞：特別賞 頼山陽賞 広島県教育委員会賞  
広島市教育委員会賞 福山市教育委員会賞  
熊野町教育委員会賞  
特選（3名） 奨励賞（9名）

○審査員：頼祺一（頼山陽史跡資料館名誉館長）、日比野貞勝（文教女子大名誉教授）、信廣友江（安田女子大教授）、寺田純子、升谷英子（県教委指導主事）、迫眞一郎（観音高校教頭）

○応募数：小学生58点、中学生82点、高校生30点（計170点）

○審査会：日時 平成30年10月14日（日）10:00～  
会場 広島市立袋町小学校体育館

○授賞式：平成30年12月9日（日）13:30～

○展示会：平成30年12月8日（土）～12月16日（日）  
会場 頼山陽史跡資料館展示室・ロビー  
来場者数 252人

#### （9）図書等頒布事業（収益事業）

○事業目的

出版社等が刊行した頼山陽に関する書籍、資料館がこれまでに刊行し

た企画展展示図録及び展示関連商品等の頒布を通して、頼山陽を始めとする近世の文化・教育等に関する情報を提供する。

○主な頒布品 2019/3/31 現在

頒布物の名称	内容	頒布価格	頒布数	売上額
開館 14 周年記念企画展図録「“詩豪”頼春水～その生涯と書～」	平成 20 年度企画展の展示図録	1,700 円	1	1,700
開館 16 周年記念企画展「頼聿庵の書～迸る情念～」	平成 23 年度企画展の展示図録	1,700 円	9	15,300
特別展「近代・広島画人伝」	平成 23 年度特別展の展示図録	300 円	8	2,400
特別展「里見雲嶺の画風」	平成 25 年度特別展の展示図録	1,700 円	6	10,200
特別展「田中頼璋とその一門」	平成 26 年度特別展の展示図録	2,000 円	3	6,000
特別展「風流才子の交わり」	平成 27 年度特別展の展示図録	2,000 円	12	24,000
頼家と広島の医学	平成 28 年度特別展の展示図録	1,700 円	12	20,400
現代水墨画の旗手	平成 28 年度特別展の展示図録	1,200 円	0	0
H25 年度南画精華展	平成 25 年度特別展の展示図録	500 円	6	3,000
H26 年度南画精華展	平成 26 年度特別展の展示図録	1,000 円	1	1,000
H27 年度南画精華展	平成 27 年度特別展の展示図録	1,000 円	1	1,000
H28 年度南画精華展	平成 28 年度特別展の展示図録	1,200 円	0	0
一筆箋	「耶馬溪図巻」, 「真率」(山陽の座右の銘), 史跡「頼山陽居室」をモチーフとした 3 冊 1 組の一筆箋	350 円	8	2,800
		3冊セット 900 円	9	8,100

そ の 他	日本外史を読む, 絵葉書等			329,699
合 計				425,599 円

(10) 会報発行等事業（他 1）

○事業目的

頼山陽等に関する調査・研究の成果や、会員等の投稿を掲載し、頼山陽に関する理解と認識を深める。

また、旅行者と共催し、頼山陽等に関係のある史跡、名勝を見学し、理解を深める会を企画する。

○事業構成

①会報「雲か山か」発行 発行部数：300 部

第 110 号 平成 30 年 8 月 31 日

第 111 号 平成 31 年 1 月 31 日

第 112 号 平成 31 年 3 月 31 日

②見学会 実施しなかった。

(11) 財団運営

①理事会

区 分	開催時期	議 題	会場
第 1 回	6 月 7 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 29 年度事業報告を承認した。</li> <li>・平成 29 年度決算を承認した。</li> <li>・平成 30 年度第 1 回評議員会の招集について承認した。</li> </ul>	頼山陽史跡 資料館館長 室
第 2 回	3 月 26 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 31 年度事業計画を承認した。</li> <li>・平成 31 年度予算案を承認した。</li> </ul>	頼山陽史跡 資料館館長 室



②評議員会

区 分	開催 時期	議 題	会場
第1回	6月 25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度事業報告を承認した。</li> <li>・平成29年度決算を承認した。</li> <li>・平成30年度事業の進捗状況) について承認した。</li> </ul>	広島アンデルセン
第2回	3月 26日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成31年度事業計画を承認した。</li> <li>・平成31年度予算案を承認した。</li> </ul>	頼山陽史跡資料館館長室